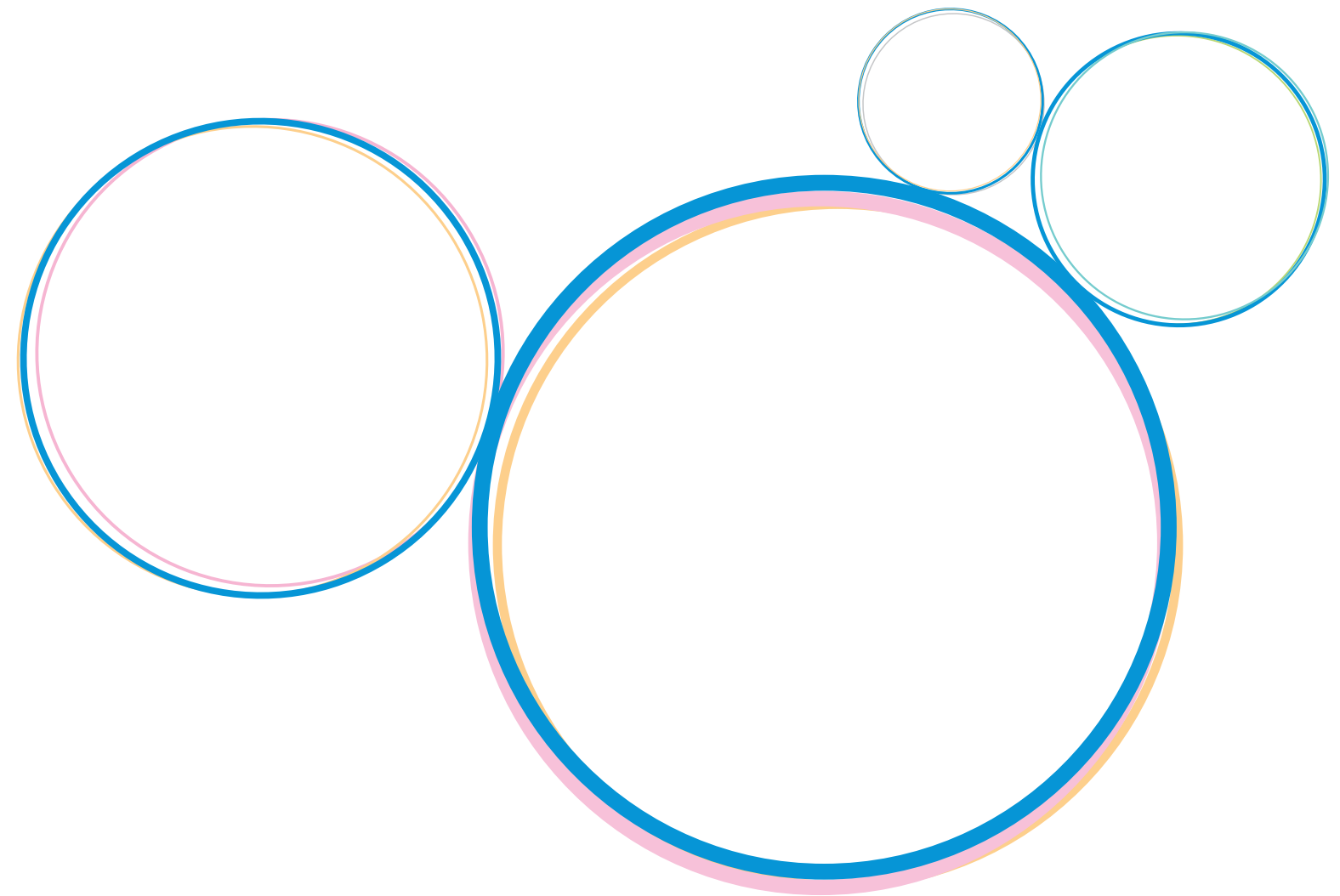


JL Japan Lifeline

CORPORATE PROFILE

日本ライフライン株式会社
www.jll.co.jp



... for patient comfort.

生きる力を支えるために

治療に向き合う人々のもとへ、
優れた医療機器をいち早く届け、
生きる力の支えとなること。

それが私たち日本ライフラインの目指す姿です。

患者様にとって適切であるか。

患者様にとって価値あるものか。

常に自らに問いかけながら、

優れた医療機器の提供に取り組んでいきます。



TOP MESSAGE

商社でありメーカーでもある 独自のビジネスモデルを追求する

当社は1981年に創業し、最新最適な医療機器をいち早く患者様と医療現場へ届けることを使命として、これまで歩んでまいりました。

最新最適な医療機器とは、最先端の技術により優れた治療効果が得られるだけでなく、同時に患者様の身体的な負担の軽減、あるいは医療従事者が抱えている医療現場の様々な課題を解決できるものであることが、非常に重要だと考えております。当社は、商社とメーカーという2つの機能を併せ持つユニークなビジネスモデルを確立しており、海外の最新医療機器の国内導入に取り組むとともに、医療現場のニーズを吸い上げ、オンリーワン製品など競争力のある製品の開発に努めております。

当社はこれまで心臓血管領域に特化して事業活動を行ってきましたが、新たに脳血管および消化器領域に参入いたしました。これらは当社のビジネスモデルの特長を活かし、商社として脳血管領域の商品で大型の長期独占販売契約を獲得したこと、また、メーカーとして自社の独自技術を応用した消化器領域の製品開発を行ったことで実現いたしました。

当社はこのビジネスモデルを活かし、真に価値のある医療機器をタイムリーに医療現場に提供し続けることで、健康社会の実現に貢献できるよう努めてまいります。

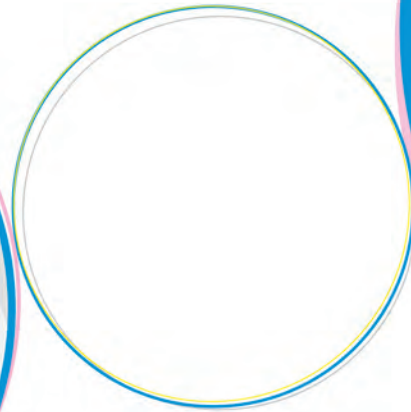
代表取締役社長

鈴木啓介



FULL-SERVICE DISTRIBUTOR & MANUFACTURER

患者様や医療現場に対して、優れた医療機器を提供するため、海外の最新医療機器を国内へ導入しています。また、国内の医療現場のニーズに応える製品を提供するため、自社製品の開発および製造を行っています。



商社として海外の最新医療機器をいち早く患者様のもとへ届ける

価値ある医療機器を早期に国内へ導入する

当社は、心臓血管領域を中心として40年にわたり事業を拡大してきました。この間、患者様や医療従事者にとって価値ある製品を常に探求してきたことが、専門商社としての確かな選択眼へと繋がっています。新たな医療機器を導入するためには、医療機器としての有効性や安全性を示し、薬事承認を取得する必要があります。当社は海外から導入する多くの医療機器についてメーカーに代わり国内の薬事承認を取得するなど、他の販売代理店とは異なり、よりメーカーに近い立場で商品導入を行っています。今後も国内の患者様のために、優れた医療機器をいち早く導入できるように取り組んでいきます。

ロジスティックスセンター

当社は国内2か所に大型物流拠点を有しています。ともに空港や主要ICに隣接する至便な立地となっており、全国各地へ医療機器を迅速に届けられる体制が整備されています。



羽田ロジスティックスセンター



関西ロジスティックスセンター

優れた医療機器を全国各地の患者様へ届ける

当社の医療機器は、東京と大阪の2つの大型物流拠点を軸に、全国をカバーする48の営業拠点を通じて各地の医療現場へ届けられています。また、医療機器が安全かつ正しく使用され、十分な治療効果を発揮するためには、適正使用に関する情報提供が欠かせません。当社では、製品を安全に使用するための知識や最新の医療技術に関する情報を国内外から収集し、医療機関へ提供するとともに、学会等で積極的に発信しています。優れた医療機器を届けるために、また適切な情報提供のために、全国規模のネットワークを構築しています。

メーカーとして医療現場が真に必要とする製品を開発し製造する

医療現場のニーズに応える自社製品を開発

国内の医療現場のニーズに応えるため、1999年にリサーチセンター（現 研究開発統括部）を開設し自社製品の開発に着手しました。2001年に初の自社製品であるガイドワイヤーを発売した後、EPカテーテル、アブレーションカテーテル、さらに人工血管等へと製造品目を拡充し、メーカーとしての実績を積み上げてきました。現在では自社製品が売上高の約半分を占めるまでに至っており、特にオンリーワン製品として発売した心腔内除細動システムやオープンステントグラフトは医療現場のニーズを的確に捉えた製品として高く評価されています。当社は今後も、日本の医療機器メーカーとして、医療現場の求める製品の開発に注力し、自社製品の一層の拡充に努めていきます。

工場



戸田ファクトリー



小山ファクトリー



市原ファクトリー



マレーシア工場 (JLL Malaysia Sdn. Bhd.)

医療機器に求められる高い品質を追求

当社の製品は、生命に直接関わる医療機器であり、万一にも不具合があってはならないことから、製造工場においては厳格な品質管理基準を定めるとともに、製造スタッフに十分な教育訓練を実施することで製品の高い品質を保っています。現在の生産体制は、中核工場である戸田ファクトリーをはじめ、量産に対応する小山ファクトリー、人工血管等を製造する市原ファクトリー、そして海外の製造子会社として、マレーシアペナン州に工場を保有しています。生産拠点や原材料の仕入れ先の複線化等を進めることで、安定供給にも取り組んでいます。今後も品質のさらなる向上とともに、生産能力の強化を図っていきます。

MAIN PRODUCTS

リズムデバイス

CARDIAC RHYTHM MANAGEMENT

心臓の拍動が正常より遅く、または速くなる不整脈を治療するための主に植込み型の機器を扱います。

S-ICD (完全皮下植込み型除細動器)
Subcutaneous Implantable Cardioverter Defibrillators

心臓や血管に触れることなく、重症不整脈を治療するICDです。



心臓ペースメーカ
Cardiac Pacemakers

心臓の動きを監視し、脈が遅くなった際に刺激を送り、正常な拍動に戻します。



ICD (植込み型除細動器)
Implantable Cardioverter Defibrillators

頻脈性の重症不整脈を治療する植込み型医療機器です。



CRT-P (両室ペースメーカ)
Cardiac Resynchronization Therapy Pacemakers

重症心不全を改善するペースメーカです。



CRT-D (除細動機能付き両心室ペースメーカ)
Cardiac Resynchronization Therapy Defibrillators

CRT-PとICDの機能を併せ持つ植込み型医療機器です。

一次救命処置

BASIC LIFE SUPPORT (BLS)

胸骨圧迫、人工呼吸による心肺蘇生 (cardiopulmonary resuscitation: CPR) と AED の使用を含む、誰もがすぐに行える呼吸と循環をサポートする一連の処置です。



手動式心臓ポンプ
Cardiopulmonary Resuscitation Support Devices

心肺蘇生のための適切な胸骨圧迫 (心臓マッサージ) をサポートします。

AED (自動体外式除細動器)
AED (Automated External Defibrillators)

心停止状態の心臓に使用し、機器が心室細動などの不整脈を検出した場合、電気ショックを行い正常な拍動に戻します。



EP / アブレーション

ELECTROPHYSIOLOGY / ABLATION

不整脈の診断に用いるEPカテーテル、高周波エネルギーによって不整脈の治療を行うアブレーションカテーテルなどを扱います。



心腔内除細動システム
Internal Atrial Cardioversion System
専用カテーテルを用いて心腔内で除細動を行います。



EP (電気生理用) カテーテル
Electrophysiological Catheters
心腔内の電位を測定し、不整脈の検査を行います。



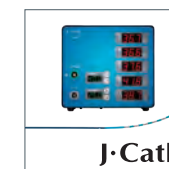
内視鏡アブレーションシステム
Endoscopic Balloon Ablation Systems
内視鏡による直視下のもと、心筋にレーザーを照射し不整脈の治療を行います。



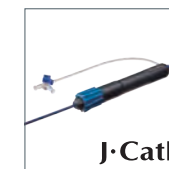
パッチ型心電図レコーダ
Wearable ECG monitors
日常生活中心電図を記録し、不整脈等の観察・診断のサポートを行います。



アブレーションカテーテル
Ablation Catheters
高周波エネルギーの通電により心筋を焼灼し、不整脈の治療を行います。



食道温モニタリングシステム
Esophageal Temperature Monitoring Systems
心筋焼灼術に伴う合併症を防ぐために食道温度のモニタリングを行います。



ステイラブルシース
Steerable Guiding Sheaths
検査・治療用カテーテルを心房・心室に挿入する際の補助を行います。

MAIN PRODUCTS

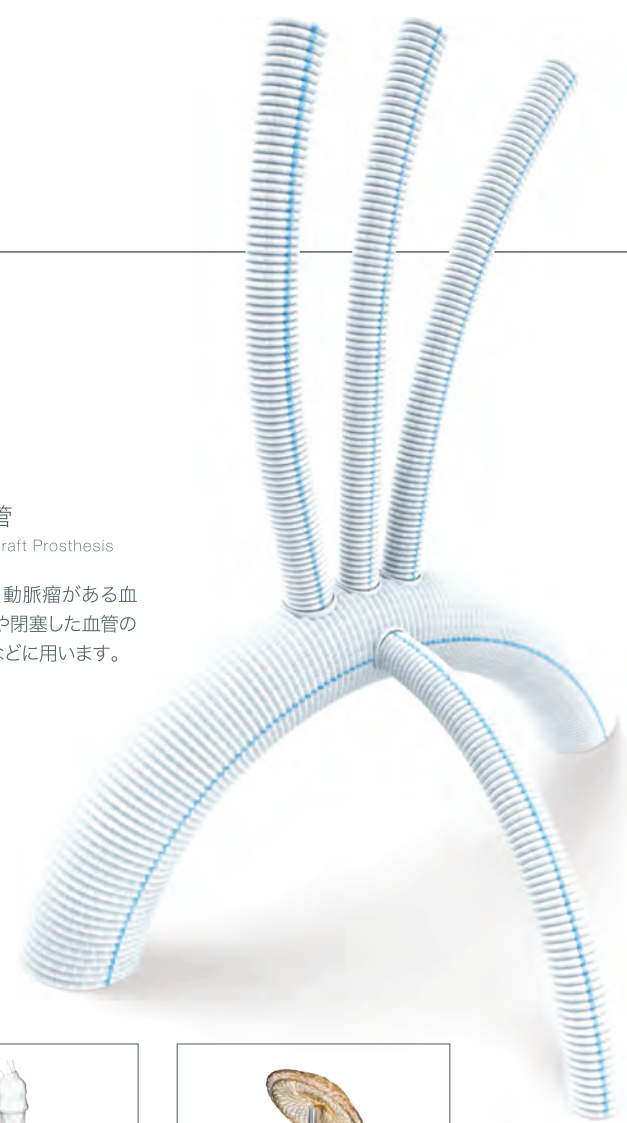
心血管関連(大動脈)

CARDIOVASCULAR & ENDGRAFTING

本来の機能が失われてしまった血管を置き換えるための人工血管などを扱います。



人工血管
Vascular Graft Prosthesis
開胸下で、動脈瘤がある血管の置換や閉塞した血管のバイパスなどに用います。



心血管関連(脳血管)

NEUROVASCULAR INTERVENTION

脳動脈瘤などの脳血管内疾患を治療するための医療機器を扱います。



血管内塞栓用コイル
Embolic Coils

脳動脈瘤内への血流を遮断し、動脈瘤の破裂を防ぎます。



オープンステントグラフト
Open Stent Grafts

開胸下で、大動脈瘤がある血管の内側に直視下で留置し、瘤への血流を遮断します。



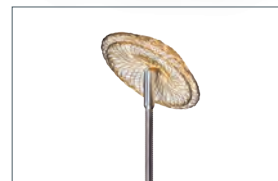
4分枝一体型オープンステントグラフト
Open Stent Grafts 4 Branched

オープンステントグラフトと4分枝人工血管を一体にすることで手技時間の短縮に繋がります。



腹部用ステントグラフト
Abdominal Stent Grafts

開腹せずにカテーテルを用いて大動脈瘤がある腹部の血管部位に留置し、瘤への血流を遮断します。



心房中隔欠損閉鎖器具
Atrial Septal Defect Closures

心臓を仕切る壁に先天的に開いている穴を閉じて治療します。



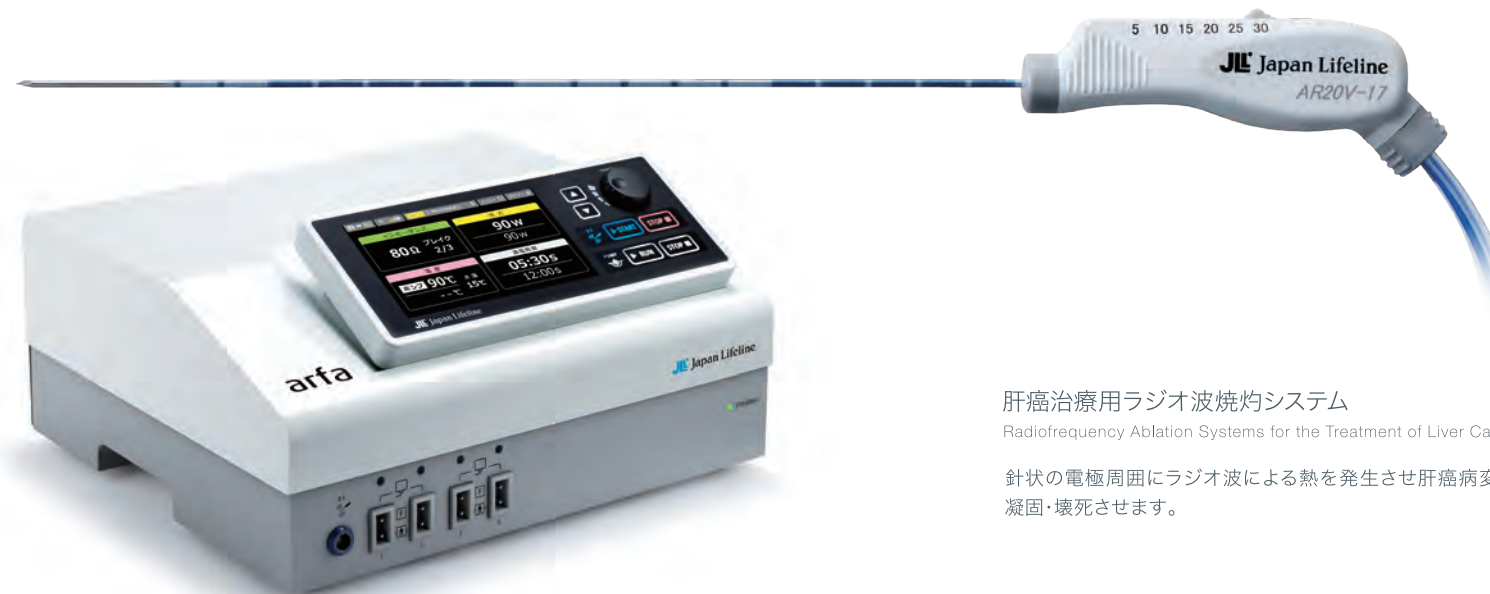
血栓吸引カテーテル
Thrombus Aspiration Catheters

脳血管に詰まった血栓をカテーテルを通じて吸引・除去します。

消化器

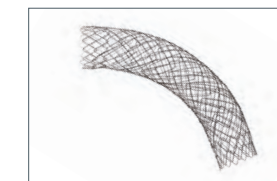
GASTROINTESTINAL

内視鏡治療関連の医療機器や肝癌に対する焼灼治療機器を扱います。



肝癌治療用ラジオ波焼灼システム
Radiofrequency Ablation Systems for the Treatment of Liver Cancer

針状の電極周囲にラジオ波による熱を発生させ肝癌病変を凝固・壊死させます。



大腸用ステント
Colonic Stents

内視鏡を用いて大腸に留置し癌による狭窄を押し広げます。



胆管用チューブステント
Biliary Tube Stents

内視鏡を用いて胆管に留置し、胆石や腫瘍などの圧迫によって狭くなった胆管を広げて胆汁の流れを改善します。

CORPORATE HISTORY

<p>1981 商社としてスタート</p> <p>東京都豊島区に日本ライフライン株式会社を設立</p>	<p>1992 商品センターを開設 (現 羽田ロジスティクスセンター)</p> <p>1997 日本証券業協会に店頭登録銘柄として株式公開</p>	<p>1999 メーカーとしてスタート</p> <p>リサーチセンターを開設 (現 研究開発統括部)</p> <p>2000 浮間ファクトリーを開設</p>	<p>2006 ISO13485:2003の認証取得*</p> <p>2007 ソーリン・グループCRM(心調律管理)製品の独占販売契約を締結 天王洲アカデミアを開設 ソーリン・グループ・ジャパン株式会社を吸収合併</p>	<p>2008 本社を東京都品川区に移転</p>	<p>2009 JUNKEN MEDICAL株式会社を子会社化 (旧 株式会社ウベ循環)</p> <p>2010 JUNKEN MEDICAL株式会社市原工場を開設</p> <p>2012 戸田ファクトリーを開設 株式会社ハートブレインを設立</p>	<p>2014 小山ファクトリーを開設</p> <p>2016 株式会社ハートブレインを吸収合併 東京証券取引所市場第一部に市場変更</p>	<p>2017 JUNKEN MEDICAL株式会社を吸収合併 JLL Malaysia Sdn. Bhd.を設立</p> <p>2018 関西ロジスティクスセンターを開設 ポストン・サイエンティフィックCRM 製品の独占販売契約を締結</p>	<p>2019 JLL Korea Co., Ltd.を設立</p> <p>2020 JLL Malaysia Sdn. Bhd. マレーシア工場を開設</p>	<p>2021 健康経営優良法人(大規模法人部門)の認定取得 プライバシーマークの認定取得</p> <p>2022 東京証券取引所新市場区分「プライム市場」に移行</p>	<p>2023 MDSAPの認証取得*</p>
--	---	--	---	-------------------------------------	--	--	--	--	---	------------------------------------

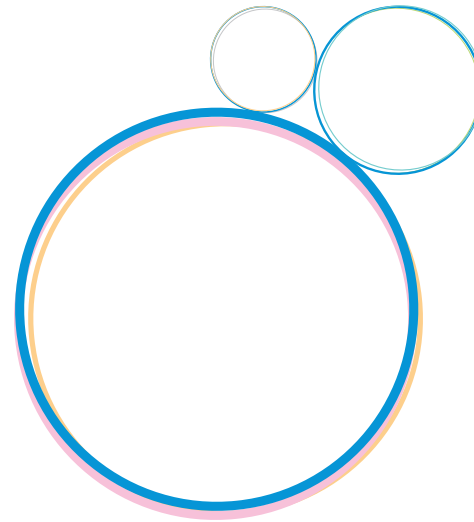
<p>1981 心臓ペースメーカーを発売</p> <p>1989 PTCA バルーンカテーテルを発売</p>	<p>1990 人工心臓弁を発売</p> <p>1991 人工血管を発売</p> <p>1994 PTCAガイドワイヤーを発売</p> <p>PTCAガイディングカテーテルを発売 人工心肺装置を発売</p>	<p>1995 EP(電気生理用)カテーテルを発売 人工肺を発売</p> <p>1998 冠動脈ステントを発売</p>	<p>2001 ICD(植込み型除細動器)を発売 自社製PTCAガイドワイヤーを発売</p> <p>2002 自社製EP(電気生理用)カテーテルを発売</p> <p>2003 自社製アブレーションカテーテルを発売</p>	<p>2005 心房中隔欠損閉鎖器具を発売</p> <p>2006 CRT-D(除細動機能付き両心室ペースメーカー)を発売</p>	<p>2009 JUNKEN MEDICAL社製人工血管を発売</p> <p>2012 自社製心腔内除細動システムを発売 生体弁を発売</p> <p>2013 胸部用ステントグラフトを発売 高周波心房内隔穿刺針を発売</p>	<p>2014 JUNKEN MEDICAL社製オープンステントグラフトを発売 自社製PTCA バルーンカテーテルを発売</p> <p>2015 自社製食道温モニタリングシステムを発売 AED(自動体外式除細動器)を発売</p> <p>2016 腹部用ステントグラフトを発売</p>	<p>2017 自社製大腸用ステントを発売</p> <p>2018 内視鏡アブレーションシステムを発売 薬剤溶出型冠動脈ステントを発売</p>	<p>2019 S-ICD(完全皮下植込み型除細動器)を発売 自社製肝癌治療用ラジオ波焼灼システムを発売</p> <p>2020 手動式心臓ポンプを発売</p>	<p>2021 閉塞性睡眠時無呼吸症の植込み型治療デバイスを発売 血管内塞栓用コイルを発売</p> <p>2022 パッチ型心電図レコーダを発売</p>	<p>2023 血栓吸引カテーテルを発売 自社製胆管用チューブステントを発売</p>
--	--	---	---	---	---	--	---	--	--	---

PRODUCTS HISTORY

※現 取得事業所:本社、戸田ファクトリー、小山ファクトリー、市原ファクトリー

経営理念

最新最適な医療機器を通じて健康社会の実現に貢献する



企業価値向上に向けて

当社の経営理念には、医療機器を取り扱う企業として、事業活動を通じて社会に貢献するという思いが込められています。この経営理念を実践するための取り組みは、医療機器という商品を患者様、医療現場へ提供するという経済的価値を生み出すとともに、患者様一人一人のQuality of Lifeを向上させ、ひいては健康社会の実現という社会的価値を創出することにもつながります。

当社は事業を通じて、経済的価値と社会的価値の双方を追求することにより、企業価値のさらなる向上を目指していきます。

ステークホルダーの皆様とともに

当社の事業は、患者様や医療従事者をはじめ、サプライヤー等の取引先、地域社会、株主・投資家、従業員等の多くのステークホルダーによって支えられていることから、皆様の期待や要請を的確に把握するためにしっかりと対話することが重要であると考えています。ステークホルダーの皆様からの「JLLでよかった」の声を聞くことができるよう、対話を通じて得られた意見や要望を企業経営に迅速に反映し皆様の期待に応え、信頼関係を構築することによって当社の持続的な成長を実現していきます。

行動規範

Japan Lifeline Code of Conduct

本行動規範は、経営理念を実現するため、ステークホルダーの皆様に対する、従業員一人一人の行動の指針となるものです。全従業員が行動規範を理解し、日々の行動の中で実践していけるよう浸透を図っています。



※一部抜粋

持続的成長に向けた取り組み ～サステナビリティの推進～

当社は、サステナビリティ推進を重要な経営課題として位置付け、社長を委員長とするサステナビリティ委員会を中心に活動を行っています。2021年に当社のマテリアリティ（重要課題）を特定し、2030年の“ありたい姿”の実現に向けて全社で取り組みを推進しています。

Environment 環境に配慮した事業活動

事業活動において環境負荷を低減することは、企業の社会的責任であると考えています。JLLグループ環境保全方針を定め、環境汚染のリスク低減や環境保護の推進に積極的に取り組むことで、地球環境の保全に貢献していきます。



主な取り組み

- ・自社工場での太陽光発電システムの導入による再生可能エネルギーの活用
- ・製品の製造過程で使用した水の再利用による水資源の有効活用
- ・産業廃棄物のリサイクル率向上によるゼロエミッションの推進
- ・FSC認証*紙を使用した製品パッケージの導入による森林資源の保全推進

*適切な森林管理の認証を受けた森林からの木材、木材製品であることを認証する制度

Social 多様な人材が活躍できる職場づくり

従業員は事業活動を支える大切な経営基盤であり、従業員が新たな挑戦を通じて成長することで、企業価値の向上が実現できると考えています。従業員それぞれが多様性を活かしながら、やりがいをもって働くことのできる環境を整えていきます。



主な取り組み

- ・人材育成方針に基づく教育研修体系の構築による充実した教育研修機会の提供
- ・女性従業員向けの研修やフォーラム等の開催による女性の活躍推進
- ・時間外労働の削減やフレックスタイム制度の導入によるワークライフバランスの最適化
- ・JLLグループ人権方針の周知による人権や多様性を尊重する働きやすい職場環境づくりの推進

Governance コーポレート・ガバナンスの強化

多様なステークホルダーの期待に応え持続的な企業価値向上を実現するためには、経営の健全性や透明性を高め、迅速な経営判断が行える体制を構築することが重要であると考えています。そのために取締役会の体制強化、コンプライアンスやリスクマネジメントの推進等に取り組んでいきます。



主な取り組み

- ・指名・報酬諮問委員会の独立性・客観性の向上による経営の健全性強化
- ・内部通報制度の活性化による法令違反や不正等の早期の把握・対応の強化
- ・BCP(事業継続計画)の整備による自然災害発生時の事業の継続・早期復旧体制の確立
- ・情報セキュリティ対策の導入や全従業員向けの教育研修によるサイバーセキュリティ対策の強化

COMPANY OUTLINE

会社概要

CORPORATE DATA

商号	日本ライフライン株式会社
所在地	〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番20号 天王洲オーシャンスクエア 25F 03-6711-5200(代表)
設立	1981年2月6日
資本金	2,115百万円
主な事業内容	医療用機器輸入・製造および販売
従業員数	連結 1,166名 単体 962名 (2023年3月31日現在)
連結子会社	JLL Malaysia Sdn. Bhd.

役員

BOARD MEMBERS

代表取締役社長	鈴木 啓介
代表取締役副社長	鈴木 厚宏
常務取締役	山田 健二
常務取締役	村瀬 達也
取締役	高宮 徹
取締役	出井 正
取締役	干場 由美子
取締役	江川 毅芳
社外取締役	佐々木 文裕
社外取締役	池井 良彰
社外取締役	内木 祐介
取締役(常勤監査等委員)	高橋 省悟
社外取締役(監査等委員)	中村 勝彦
社外取締役(監査等委員)	浅利 大造
社外取締役(監査等委員)	苅米 裕

事業所一覧

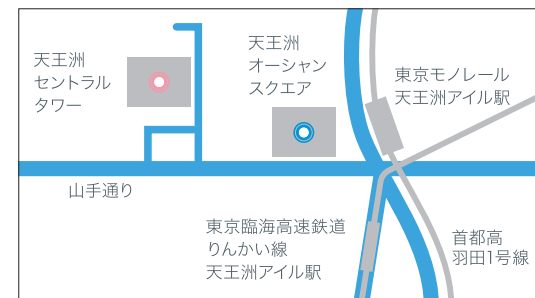
OFFICE LIST

Headquarters & Factories

本社	東京都品川区
天王洲アカデミア	東京都品川区
研究開発統括部	埼玉県戸田市
戸田ファクトリー	埼玉県戸田市
小山ファクトリー	栃木県小山市
市原ファクトリー	千葉県市原市
羽田ロジスティクスセンター	東京都大田区
関西ロジスティクスセンター	大阪府茨木市

Sales Offices

札幌営業所	北海道札幌市	多摩営業所	東京都府中市	姫路営業所	兵庫県姫路市
旭川出張所	北海道旭川市	千葉営業所	千葉県千葉市	米子営業所	鳥取県米子市
釧路営業所	北海道釧路市	横浜営業所	神奈川県横浜市	岡山営業所	岡山県岡山市
函館出張所	北海道函館市	新潟営業所	新潟県新潟市	広島営業所	広島県広島市
青森営業所	青森県青森市	北陸営業所	石川県金沢市	山口出張所	山口県山口市
秋田営業所	秋田県秋田市	福井営業所	福井県福井市	高松営業所	香川県高松市
盛岡出張所	岩手県盛岡市	松本営業所	長野県松本市	松山営業所	愛媛県松山市
仙台営業所	宮城県仙台市	山梨出張所	山梨県甲府市	高知出張所	高知県高知市
山形出張所	山形県山形市	静岡営業所	静岡県静岡市	北九州営業所	福岡県北九州市
郡山営業所	福島県郡山市	浜松営業所	静岡県浜松市	福岡営業所	福岡県福岡市
宇都宮営業所	栃木県宇都宮市	名古屋営業所	愛知県名古屋市	大分営業所	大分県大分市
群馬営業所	群馬県前橋市	三重営業所	三重県津市	熊本営業所	熊本県熊本市
茨城営業所	茨城県つくば市	奈良営業所	奈良県奈良市	長崎営業所	長崎県長崎市
浦和営業所	埼玉県さいたま市	京都営業所	京都府京都市	宮崎出張所	宮崎県宮崎市
東京第一営業所	東京都豊島区	大阪営業所	大阪府大阪市	鹿児島営業所	鹿児島県鹿児島市
東京第二営業所	東京都品川区	神戸営業所	兵庫県神戸市	沖縄営業所	沖縄県那覇市

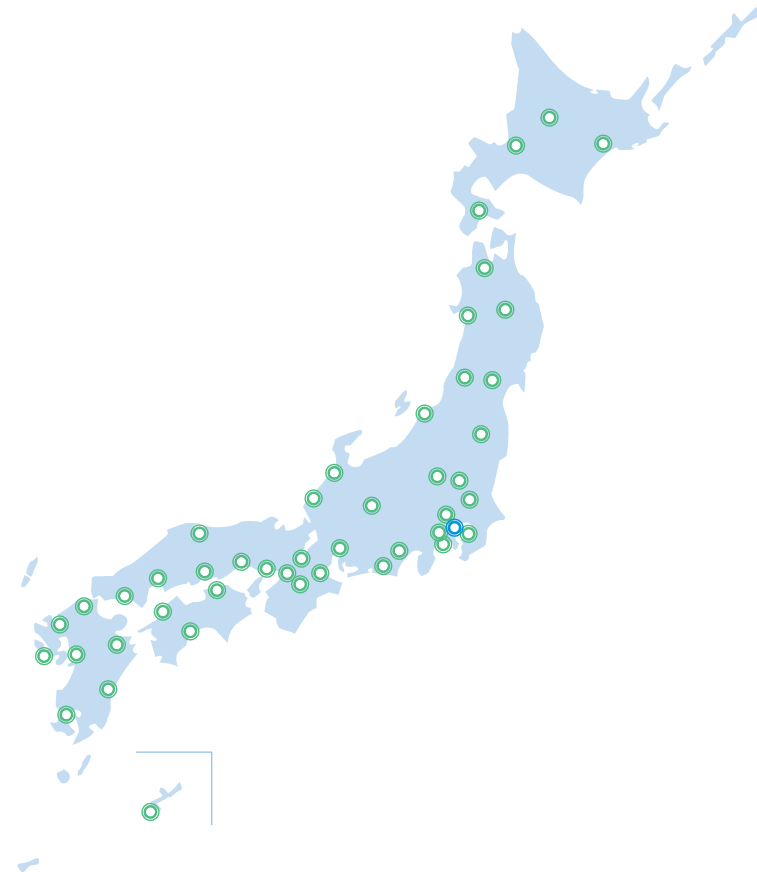


●本社

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番20号
天王洲オーシャンスクエア 25F
TEL. 03-6711-5200

●天王洲アカデミア(研修センター)

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番24号
天王洲セントラルタワー 6F



※許可なしにコピーまたは転載することを禁じます。
©2023 Japan Lifeline Co.,Ltd. All rights reserved. No portion of this publication may be reproduced without written permission from Japan Lifeline Co.,Ltd.